

# 平成30年度 事業報告書

特定非営利活動法人 くすの木自然館

## 1. 事業の方針

「環境教育」「学校・社会教育の現場での実践」「指導者養成」「環境地域づくりの実践」の分野の強化とより深い実践と実績を目標としてきた30年度だったが、ほぼ、80%の目標を達成できたと思われる。

特に、「鹿児島県共生協働センター」の運営委託事業においては、これまでのNPO法人としての活動実績を踏まえ、多くのNPO法人に活動や運営のアドバイスを行い、くすの木自然館としての新たな活動分野を確立できた。

「環境教育NPO法人」の原点に立ち返り、事業及びスタッフの質の向上とスキルアップに重点を置き、それぞれの得意とする分野を活かした事業展開が見られ、主催事業の「エコツアー」や「錦江湾学習会」などは、確実なリピーター参加者も見られ、環境教育のNPO法人としての役割を果たしている。

### 【主な事業】

#### ① 「重富海岸自然ふれあい館 なぎさミュージアム」委託管理（環境省）

国立公園重要園地「重富海岸」に建設された「展示施設」の委託管理運営の事業。

4年目を迎え、地域に根差した環境省の展示施設として、その役割を十分にはたした。特に、地域の学校教育において当施設の利用を積極的に活用し、環境学習の拠点となってきたことはその成果だと思われる。

#### ② 景観学習（鹿児島県）

鹿児島県が先駆的に取り組んでいる「景観学習」。昨年度の実績をもとに、今年度もアドバイザーとして実践を積極的に行い、故郷の景観を大切に育て受け継いでいく、環境教育の原点ともいえる活動に大きな実績を残すことができた。

#### ③ 鹿児島県共生協働センター運営委託事業（鹿児島県）

「鹿児島県共生協働センター」の運営委託管理事業。

今年度より、委託事業を開始した事業。県内のNPO法人の申請や活動におけるアドバイスや活動支援を行う。「共生協働センター」の窓口業務に当たり、これまでの当法人のNPO法人としての実績や、実践を十分に生かし、新たな活動の柱となっている。

④企業と連携して行う自然体験事業

(トヨタアクアソーシャルフェス、アースコンシャスアクト)

他分野の企業と連携し、当法人の得意とする環境教育や自然体験活動を、多くの市民を巻き込んで行っていく事業。

例年通り、外部への評価も高く、多くの関心を集めた事業だった。

④ 地球でここだけエコツアー（主催）

- ・夏休み毎日プログラム
- ・早朝ウェーダーウォーク
- ・干潟のプレミアムツアー
- ・真冬のバードウォッチング
- ・真夜中のランデブー

天候に左右される事業ではあるが、どの事業も確実なリピーターが生まれ、高い評価を得ている。

⑤ 講座、研修会（主催）

- ・錦江湾学習会

主催事業の座学学習会として、大きな人気を担っている講座。充実した講師陣と最新の学習内容で、本年も実りある事業だった。

⑦ 地域密着型 CO2 削減普及啓発事業（あいらびゅーFM 委託事業）

⑧ 会員増のための会員特典の見直し

30年度の事業の中で唯一達成が難しかった事業。会員への情報提供や特典の在り方を、根本から見直す必要があると思われる。